

振興会 だより

令和8年7月23日発行
編集・発行 振興会
羽田地区センター

ビアガーデン2026

6月27日(土)市久保公園で開催

羽田地区振興会商工観光部会(及川貢基部長)は、羽田商工会と共催し、6月27日(土)、羽田地区センター前の市久保公園で、「ビアガーデン2026」を開催しました。

昨年度の7月開催は、猛暑のなかで、体調を悪くした人が出たことを踏まえ、6月開催としました。台風7、8号が接近することが予想されましたが、東に逸れたため、雨も降らず、それほど暑くもないなかでの開催となりました。

場所は、一昨年度の旧まさの様駐車場、昨年度の旧水沢信金羽田支店跡地から、羽田地区センター前の市久保公園としました。経費節減を図るため、トイレは、公園内にあるトイレ、地区センターのトイレを使用していたが、経費のかかる簡易トイレの設置はしませんでした。

イベントとして、繋縁による「よさこい」演奏、水沢ベンチヤーズによる「バンドコンサート」、お楽しみ抽選会(ビンゴゲーム)を開催しました。

また、食べ物ツチンカーで購入し、飲み物(アルコール類、ソフトドリンク)を、商工観光部会の皆さんが販売しました。

公園、キッチンカー、お楽しみ抽選会(ビンゴゲーム)は、子どもさん方呼び込む契機となり、従って親御さん方をも呼び込むことにつながり、客相が若返ったように感じました。子どもさん方が、公園内を楽しそうに走り回る光景は、何とも言えない微笑ましいものを感じさせました。

賑わいのあるまちづくりに資するイベントとして必須です。



水沢江刺駅周辺エリアプロジェクトの今後の方向性

6月25日(木)18時30分から開催された執行委員会に先立ち、市政企画部未来羅針盤課羅針盤プロジェクト室から、「水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト」について、左記のような説明がありました。

未来羅針盤課6月廃止

「水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト」については、今まで取り組んできた経過を踏まえ、継続して検討していくということです。しかし、未来羅針盤課羅針盤プロジェクト室

は、6月30日で廃止となります。

今後の取組みの方向性

市からの説明では、次のように取り組んで行くということです。

①駐車場の利便性向上については都市整備部、②二次交通の課題解決については政策企画部、③南岩手交流プラザのリニューアルについては商工観光部で業務を引き継ぎ、地域、関係者との協議を行いながら、投資対効果の高い事業から優先的に取り組んで行くということです。

[家族安心カード]配付

万が一に備え、万全の備えを！

羽田地区民生児童委員協議会、羽田地区行政区長協議会、羽田地区振興会は、8月第2週木曜日の区長便で、「家族安心カード」を羽田地区全戸に配付します。

「家族安心カード」は災害や緊急事態の対応に備えるためのものです。記入すること、

①ご自身やご家族の状態を確認し、記録ができます。

②いざという時の連絡先



③緊急時の対応を迷うことなく調べられます。

「家族安心カード」への記入を通して、家庭内で、災害時や緊急事態の対応について、ぜひ話し合い確認してください。

5月29日から運用が始まった防災気象情報も記載してあります。

「冷蔵庫の扉や側面」等に掲示してご利用ください。

社福水沢地域福祉推進協議会羽田支部視察研修 紫波町「NPO法人古館まちづくりの会」訪問

6月29日(月)、奥州市社会福祉協議会水沢地域福祉推進協議会羽田支部(佐藤弘美支部長)は、紫波町のNPO法人古館まちづくりの会を視察研修してきました。NPOとは、特定非営利活動のことを言います。

この古館まちづくりの会は、古館公民館のなかに事務所があります。この2者は、公民館Ⅱ社会教育の場に専念、まちづくりの会Ⅱ地域活動をサポートと位置づけられ、2者は“協働”という関係にあります。

「自由で活気にあふれた おしゃれで夢のある古館へ」をスローガンに掲げ、みんなが自由に発言でき、互いに認め合って活躍できる環境ができています。

まちづくりの会の取り組み事業は、①ミニ相談窓口、②人材バンク、③

団体サポート、④若者チーム、⑤こどもの居場所、⑥みんなの茶の間、⑦調査・改善、⑧



防災、⑨チャレンジと、現在、どの地区でも必要な取り組みがほとんど網羅されています。



このうち、⑧防災事業は、平成25年8月9日に発生した豪雨災害を教訓にして取り組んでいるとのこと。事業の1つとして、古館防災フェスタを開催。昨年は、ア床下の泥だし体験、イA Rによる浸水体験、液状化体験、A E Dによる救命救急体験、消火器体験等を実施しています。

この事業には、10代〜70代まで各世代の方々が満遍なく携わっていることに驚きを禁じ得ませんでした。

最後に、参加者の感想から一部抜粋。「……『まちづくりは出来る人が出来る事をする』。誰かがどうにかしてくれるだろう!ではなく、自分たちで変えてゆかなければならぬ。いんだと強く思いました……」。そうです。まちづくりの主人公は、皆さん一人ひとりなのです。

羽田地区かたりあいの輪福祉懇談会

7月6日(月)10時から羽田地区センターで、令和8年度羽田地区かたりあいの輪福祉懇談会が開催されました。

最初に、事業説明として、第4次奥州市地域福祉活動計画の概要、地域生活課題と地域福祉コーディネーターの取り組み状況の2つについて説明がありました。

続いて、懇談がありました。テーマは、「地域に愛着を持てるような世代間交流の場づくりについて」というもので、5つのグループに分かれて、グループワーク形式で実施しました。

まず、アンケートの記入を5分で実施、その後、アンケ

ートをもとに設問5と設問6について話し合うというものでした。

特に、設問6「どのような地域活動や行事だったら参加してみたいですか?」について、相当突っ込んだ話し合いが、どのグループでもなされたようです。設問6の12項目のうち、地域のお祭り、スポーツ交流事業は、世代間交流の場として多くの方が選んでいました。キーワードは、「コミュニケーション」と考えられます。



重要水防箇所合同巡視

6月22日(月)10時50分〜11時10分に、荒川頭首工付近で、重要水防箇所合同巡視がありました。小雨が降りしきる中、振興会から会長、センター長が参加し、説明を聴きました。A4版のプリント計90枚に及ぶ膨大な資料を配付されました。来年度は、新幹線高架橋下の伊手川堤防で実施すべきと意見を申し述べましたが、果たしてどうなることやら?

避難所運営班打合わせ

6月26日(金)9時〜10時、Zアリーナで避難所運営班打合わせが行われました。市から4名、地区センターからセンター長、事務長、Zアリーナから館長、計7名の出席でした。主な確認事項は、Zアリーナの鍵開けはZアリーナ、認証カードは市、発電機、防災行政無線は地区センター事務長が地区センターからZアリーナに持ち込む等のことでした。